

2025
12

教区だより

● 真宗大谷派京都教区 教化広報誌

第6回連載

「女性教化」の近・現代史を紐解く

— 真宗大谷派の場合 —

大谷大学文学部歴史学科教授 福島 栄寿 氏

特集

教化本部 企画室

特集

お斎場レポート

「女性教化」の近・現代史を紐解く

—真宗大谷派の場合—

大谷大学文学部歴史学科教授

福島 栄寿 ふくしま えいじゅ



第6回

「仏教主義婦人雑誌」『家庭』を読む（その二）

『精神界』の三つの論説と

『家庭』の「吾人の男女同権論」

前回は、『家庭』第二号（一九〇一〈明治三四〉年一月発行）の論説「吾人の男女同権論」について紹介しました。その主張は、「男女同権を認めるならば、服従の美德を認めなくてはなりません。そうであればこそ、初めて温良恭謙^{おんりようきんけん}で、気力のある婦人になれるのです。」（筆者意識）というものでした。今回は、こうした、いわば女性への「服従の美德」の教説と、『精神界』誌上における「精神主義」の諸論説との関係を探ってみたいと思います。先取りすれば、「吾人の男女同権論」（『家庭』）は、『精神界』創刊号の「精神主義」、第二号の「万物一体」、第三号の「自由と服従との双運」という、いずれも清沢満之筆とされる三つの代表的な論説の主張を踏まえたものでした。

「精神主義」・「万物一体」・「自由と服従の双運」

「精神主義」では、「精神主義は、私たちがこの世で生きるための実行主義で、その最も大切なことは、充分な満足を精神内に求められると信じることにある。それが具体的に発動する時には、……完全な自由と

服従がそなわり、この世における一切の苦しみや思いは一掃される」（筆者意識）と述べます。

「万物一体」では、「万物一体とは、……宇宙に存在する無数の物体は、……互いに相より、相まって一つの組織体を成しているということを意味する。……本當の道德は、万物一体の真理に基づいた平等で障りのない正念（正しい思い）から起こる。……阿弥陀仏の正念に基づくよい言葉に促され、私たちに正念が発動するのが、宗教の真髓であり道德の源泉である」（同前）と述べます。「自由と服従の双運」では、「自由と服従とは決して相容れないものではない。……万物一体の真理を体得したならば、私たちは彼と私の利害が一致することが理解でき、……自由と服従とは、もともと同一本体の活動の二側面に過ぎないと理解できる。自由はその本体の自動的側面であり、服従はその他動的側面であり、私たちはこの二側面に対し、常に平等の心地を保持しなければならぬと認識するようになる」（同前）と述べます。

私たちが完全な自由と服従をそなえ、この世を生きる苦しみからの解放を目指す「精神主義」という信念^{モットー}。当時の立身出世の風潮のなか人生に苦悩した青年読者の胸には、きっと届いたでしょう。また、これ

らの論説の主語はいずれも「私たち」であり、性別を意識した言葉は一切なく、あらゆる読者にあまねく語りかけているようでした。

男性のための「精神主義」

しかし、『家庭』を発見した私は、それが、単なる思い込みに過ぎなかったことを思い知ることになりました。『家庭』の論者が、女性を意識して自由と服従の関係について述べるとき、その言葉は、性差を強く意識した言葉となり、読者女性を論す調子に変貌するのです。そして、このような『家庭』の論説の特徴は、『精神界』の読者として、女性を想定していなかったことを浮き彫りにするものでした。逆に言えば、『精神界』誌上の「精神主義」の言葉は、男性のみに向けた教えという意味を帯びてしまうのです。「精神主義」の言葉を小学生の頃から読んでいた私にとって、この

気づきは、私の自己形成の根幹を揺るがす程に衝撃的なものでした。



『精神界』

出会いと交流について思うこと

長浜第21組 浄福寺 藤本 有
じょうふくじ ふじもと あり



企画室に席をいただいて1年と6ヶ月になります。会議等に参加して感じたことは、地域の実情や課題が大きく違うということでした。旧長浜教区は地域がさほど広くはなく、組の教化活動などの実情や課題は共通していることもありましたので、旧京都教区の実情を聞くにつけて、その違いに驚きました。しかし、広域となった京都教区のみならずと出会い、様々な実情に接すること、教化を進めていくうえでのポイントが絞られていきました。また、自分の足元を見つめ直すこともできました。ですから、出会いの場を創造し交流することは、教化活動を問い直し前に進める原動力になる重要な営みであると考えられます。

対話する前と対話した後で変化が生じることだそうです。対話の前後で何も変わらなければ、対話した意味がないのです。私は、この一文の中に「教化を概念的に固定化してとらえるのではなく、自分の考えを押しつけるのではなく、教化について語り合うことを通して、同じ教えを聞く者として共に歩んでいきましよう」というメッセージのようなものがあることを感じました。

教区が進めている「出会いと交流」は、教化する側とされる側という垣根を超えて、あらゆる人々と共に歩んでいくという意思の表明であると感じ止めたいと思います。



両性で形づくる教団を願って

山城第2組 法泉寺 井上 啓子
ほうせんじ いのうえ けいこ



新京都教区が発足して1年ちよつとになりますが、違う教区が一緒になるのは難しいものだと感じています。私は新教区で新しくできた企画室の委員をさせていただいています。旧京都教区では男女共同参画委員会をしていましたので、新教区でもそのことを進めたいと思っています。

新教区ではそれぞれの部会で、男女共同参画に関する学習会を行っていたいています。学習内容は、それぞれの部会で考えていただいているので、いろいろな意見が出ているのではないのでしょうか。そして、そのいろいろな意見を交換し共有することで、新たな視点が開かれたり、自分の思い込みに気づくこともあると思います。気楽にお互いの意見を語り合える場が必要だと思うので、そのような場を作っていきたいです。またこれからは坊守会や他の団体、地区や組の教化委員会でも男女共同参画を学習し

ていただけるよう働きかけていく予定をしています。

先日、宗議会議員選挙が行われ、65名の議員さんが選ばれましたが、男性61名女性4名、女性は6パーセントという結果です。教区会や組会でも同じように女性が少ないと思われます。京都教区の同朋会議はほとんどが男性です。両性で形づくる教団と言いつつ、決定機関にはほぼ男性しかいない。これがこの教団の現実です。いろいろな立場の人の意見が反映される、そういう教団であってほしいと願っています。

そのようなことを考えながら、残り少ない任期を務めさせていただきます。

※宗議会議員選挙・宗議会議員（僧侶代表）は、参議会議員（門徒代表）と共に真宗大谷派の予決算・諸規則の制定等を議決する機関で、議員は各教区から選挙で選出される。

お斎場レポート

長浜第24組 明樂寺 藤谷 法子



相頓寺さんの「お講箱」

みなさんは「お講箱」という箱をご存じですか？

県外から嫁いできた私は「お講箱」という箱に大変興味を持ちました。SNSで尋ねてみると「蔵にあるけど何に使っていたのか解らない」とか「おばあちゃんがお寺にお参りに行くときにつけていた」「うちのは白木の箱やで」とかの声が寄せられ、その度に、どうしても見てみたくなりました。先輩坊主さん数名に情報収集をお願いしたところ、2019年に行われた「長浜教



お講箱全貌

木製漆塗りの箱。幅約20センチ奥行き約20センチ高さ約30センチの大きさでした。



上にスライドして開ける蓋の裏には食前食後の言葉が書かれてありました。

区・五村別院・長浜別院宗祖親鸞聖人750回御遠忌」関連事業の一つで旧長浜教区坊守会が教区内約20ヶ寺の「お講汁」を調査されました。その資料に掲載されていると連絡をいただき、早速、資料を拝見しました。その中に相頓寺さん（滋賀県長浜市湖北町尾上）の報恩講の写真があり、そこに探求していた「お講箱」が写っていました。すぐさまお電話をし、ご近所の門徒さんからお借りいただいたものを見せていただくことになりました。

お講箱は二段になっていて上段に汁椀、下段には自宅から自分の食べられる量だ

けのご飯を蓋つきのお椀によそって持参していたそうです。相頓寺さんでは地域の女性の会と年番さんが前日から仕込んだ約50人分のお講汁（地域の伝統野菜の尾上菜入り）、漬物などが晨朝法要の後、お講の場でそれぞれのお椀に配られ、皆で頂いたそうです。食器は洗わずに再びお講箱に入れ持ち帰られました。この箱のお陰で多くの食器をお役の方が洗わなくてもよかったのですね。残念ながら今はお斎で使われることはないとのこと。

コロナ禍以降お講の場が激減している今、「お講箱」のエピソードをお伺いすると、この箱の中には真宗の教え以外にも、その土地ならではの食文化、歴史、人間関係など大切なものも入っていたように感じました。

*尾上菜は古くから栽培されてきたアブラナ科の植物ですが、現在は尾上地区の一部

の世帯で自家消費のために栽培されるのみで、市場へ出回ることほとんどないそうです。また、他のアブラナ科の植物と交配を繰り返して雑種化が進んでいました。「長浜市湖北町尾上地区で大切に守られてきた尾上菜を残したい」という地域農家の想いに応えようと、市や長浜バイオ大学等が協力し、尾上菜の保存に取り組みられています。



参拝者が持参したお椀に「お講汁」を配る容器

多くの参拝者に効率的に短時間で具材とお汁を分けて配れる優れたもの。

蓮光寺さんの「おこ部屋」

湖北の寺には、住職一家の台所とは別に、門徒さん専用の台所や小さな茶所を備えているところがあります。この「門徒さん専用の台所」を初めて見た時「これは気を使わなくていいなあ」と感動したものです。

さて今回は、山城で知られる小谷城の近くにある蓮光寺さん（滋賀県長浜市山ノ前町）を訪ねました。こちらの報恩講のお齋当番は、男性門徒さんによる年番制になっており、仕込みもお給仕もすべて男性が担当されます。コロナ禍の間は中止されていましたが、2024（令和6）年は報恩講直前に急ぎよ再開されたそうです（今年は11月16日に有志で実施）。報恩講の前日、当番の男性たちは「おこ部屋」（いわゆる台所）で、大きな鍋に切った大根を入れ、鑄物のガスコンロで時間をかけて炊いていきます。

この「おこ部屋」は、本堂と庫裡のちようど中間にあり、本堂から出てすぐの渡り廊下を利用した細長い空間です。掃き出し窓からは境内が見渡せ、たく



「べに鉢」で男性のお当番さんが本堂でお給仕されています。

さんの光が入る明るい場所でした。部屋の際には冷蔵庫があり、中を見せて頂くと缶チューハイが並んでいました。私「これは住職さんが飲まはるの？」ご住職「いや、私はアルコールは飲まないんですが、いただいた缶をここに入れておくと、役員さん達が飲んでくださるんですよ。」

役員さん達は、年間の作業や仏事のあとにこの「おこ部屋」で集まり、村のことや寺のこと、健康のことなどを語りながらくつろいでおられるそうです。そういえば昔、実家の寺でも、庫裡の一室で仏事のあと総代さんたちが楽し

そうにお酒を飲んでいました。様子を伺いに障子のすき間から覗いて見つかりししぶ夜遅くまでお酌をしたことを思い出します。

お寺に足を運ぶ人が少なくなってきた今、「人が集う場所」が「寺」であるということが、寺に住む者としては本當にうれしく感じます。しかし、人が集えば、時に意見の相違もあるでしょう。喧嘩をすることもあるかもしれません。けれど、そんな人間味あふれる語らいの中でこそ、真宗の教えが受け継がれてきたのではないのでしょうか。それぞれの寺にはそれぞれの事情があり、このような気楽な場所を持っていないところもあります。そんな中、蓮光寺さんの「おこ部屋」で美味しいお茶とお菓子をいただき、感じたことを書かせていただきました。



蓮光寺さんに代々伝わるお講汁を入れる陶器製の「べに鉢」



大きなお鍋がある語らいの場みなさん、楽しそう！私も一緒にしたいな。

男ひとと女ひとの平等ひとって、 なに？



年齢を重ねて思うこと

出版部会 近江第26組 徳乗寺 比叡谷 真



つい先日五十歳になった。残り時間がどれだけあるのかわからないが、人生の後半ということを意識せざるをえない。私たちにまで伝わってきたことを、後輩の方々に受け伝えていきたいとあらためて感じている。

だが、伝統あるいは相続という言葉で表現される中身の検証も忘れてはならない。

たとえば、真宗大谷派の儀式声明が、長く男性のみで形作られてきたことに思いをいたすとき、我々の考える宗門の伝統の多くが、男性中心を前提として成り立っているという事実に行き当たる。その点に疑問を待たず、ただこれまでのやり方を踏襲するよう伝えていくことが人生後半の使命であるとは、私にはどうしても思うことはできない。

京都教区教化方針（二〇二五年度京都教区教務所長各組巡回事

務連絡事項』三十三頁）において、

教区教化の理念「男女共同参画」の広がりや深まりを

目指す」の具体的な取り組みの姿勢として掲げられているよ

うに、「男女の区別で見えていくこれまでの発想を省み」るこ

とが、私たち教区人の一人ひとりに願われている。そこに、

本当に伝わってほしいこと、伝えていくべきことの内容を確か

めていくあゆみがひらかれるのだと思う。

先にお勤まりになった大津別院報恩講の内陣出仕者はす

べて男性だった。一朝一夕に変わることでないが、職員と

して、また大津別院の崇敬区域寺院住職として、現状を破

る取り組みを始めていきたい。

※崇敬区域…大津別院を護持・崇敬する地域（近江第1組、近江第25東組、近江第25西組、近江第26組）のこと。

平等？ 対等？ はどう違う

出版部会 近江第2組 圓通寺 井上 教真

10月21日、日本で初めて女性の総理大臣が誕生しました。

私は日本でもやがては女性が首相になるだろうとは思っていました

が、こんなに早く実現するとは思いませんでした。

先日NHKの特集番組を見ました。地方で働く女性の

中には、依然厳しい条件下で働く方がいることを知りまし

た。事務仕事はほぼ一人でこなしているが、20年以上ほと

んど給料は上がらない。役職のある仕事につくことはでき

ず、昇進・昇級については蚊帳の外。結婚・出産をすれば退

職するのが当然だと思われている。など、少なくとも私の

周りでは女性が当たり前のよう

に活躍されているので、まだこんな現実があるのかと驚き

ました。

再就職を目指し、資格を取得、

パソコン等のスキルを高める努力をされていきました。働く以

上は少しでも多く給料を貰いたいですし、責任のある仕事を

をしたい、仕事にやりがいを感じたいと願われていました。

日本では法律上は男女平等ということになっていますが、

現状はまだまだ解決すべき問題を抱えています。私は日本

が目指しているのは男女の平等ではなく、男女が対等な社会

に思えてなりません。こうなれば確かだという正しいビジョ

ンは持っていませんが、それぞ

れが「これでいいのか」という問いを持つことが大切なのでは

ないでしょうか。

番組で取材を受けた方は一

様に、東京あるいは都心での

京都教区 12月の教区事業

5日(金)	13:30～16:00	教区坊守会 交流研修会	教区会館 2階 大講堂
10日(水)	9:30～15:30	教区坊守会 真宗基礎講座 (Zoom 併用)	教区会館 2階 大講堂
12日(金)	13:00～15:00	教区准堂衆会 女声声明講習会	教区会館 2階 大講堂
17日(水)	15:00～17:00	教区仏教青年会 第13回「0からはじめる声明教室」	教区会館 2階 大講堂
18日(木)	15:00～17:30	教区准堂衆会 公開講座	教区会館 2階 大講堂

京都教区 12月の教区諸会議

4日(木)	10:00～12:00	教化本部	教区会館 2階 大講堂
4日(木)	13:30～16:30	教化調整協議会	教区会館 2階 大講堂
19日(金)	13:30～16:30	教化本部 出版部会 編集会議	Web 会議 (Zoom)
23日(火)	13:30～17:30	教化本部 研修講座部会	教区会館 3階 研修室

教務所からのお知らせ

長浜教務支所の現金取扱日について

長浜教務支所の現金取り扱いは、左記のとおりです。

12月8日(月)	12月22日(月)
1月19日(月)	
2月9日(月)	2月24日(火)
3月9日(月)	3月23日(月)
4月6日(月)	4月20日(月)
5月11日(月)	5月25日(月)
6月8日(月)	6月22日(月)

年末年始休日のお知らせ

2025年12月27日(土) から
2026年1月4日(日) まで
年末・年始休日のため、教務所・
教務支所を閉所いたします。

教務所・教務支所閉所のお知らせ

2026年2月12日(木) から
2月13日(金) まで
所員研修のため、教務所・教務
支所を閉所いたします。

緊急連絡先…

080-6121-0737

『教区だより』11月号の誤植について

11月号6頁「靖国問題学習講演会」の執筆
者氏名の読み仮名に誤植がございました。

深くお詫び申し上げますとともに、左記の
とおり訂正させていただきます。

岸本 恵(きしもと めぐみ) 岸本 恵(きしもと さとし)

京都教区新年互礼会の開催について(予告)

2026年1月16日(金)午後5時30分から、
教区内寺院及び門徒を対象に新年互礼会を開
催します。詳細は、本誌発送に同封いたしま
すが、是非お誘いあわせのうえ、ご参加いた
さたくご予定くださいますようお願いいたしま
す。

宗教法人事務所備付書類の提出について

宗教法人(寺院・教会)は毎会計年度終了後、
4カ月以内に、事務所備付書類を所轄庁に提
出することが義務付けられております。

このほど、文化庁は、各宗教法人から事務
所備付書類を遅滞なく提出してもらうよう、
所轄庁(各府県知事・宗教法人担当)に指導さ
れました。

具体的には、提出されていない宗教法人に対
して督促するとともに、なおも提出されない
法人に対しては「過料手続」を実施すること
も併せて指示されています。

ついては、各寺院・教会におかれては、事
務所備付書類を遅滞なく提出いただきますよ
うお願いいたします。

なお、ご不明な点等ございましたら、京
都教務所までご連絡ください。

依頼「令和六年能登半島地震」

災害に対する救援金の勧募について

昨年(二〇二四年)一月一日に発生し
た能登半島地震から一年半余り経過いた
しました。これまで、教区内のみなさまか
ら被災地の支援にご理解をたまわり、救
援金をお寄せいただいておりますこと、こ
の場をお借りして御礼を申し上げます。

このたびの地震の影響を受けた北陸の地
は、真宗門徒の多い地域であります。と
りわけ震源地である能登地方は多くの寺
院・ご門徒が甚大な被害を受け、今もな
お深い悲しみと不安の日々を過ごされてお
ります。真宗大谷派として、今後も全
力を傾注して支援策を講じてまいります。
地震発生直後から、真宗大谷派寺院の被
害状況や今日までの支援活動の様子など
は、真宗大谷派Webサイト内でも随時お
知らせ更新しております。また、公式S
NS(X)でも発信しています。

京都教区としても、息の長い被災地支
援を続けてまいりたいと存じます。なにと
ぞ趣旨をご賢察たまわり、救援金勧募な
どの被災地の支援に引き続きご協力くだ
さいますようお願いいたします。

真宗大谷派Webサイト内
令和6年能登半島地震について

災害情報公式X(旧ツイッター)



京都教区別院 12 月の行事予定

5日(金)	12:00～13:00	赤野井 定例法話(教如上人御命日速夜) ^{法話} 中川 眞 師(別院輪番)	赤野井別院
6日(土)	14:00～16:00	伏見 声明作法講座 ^{法話} 浅井 誠 師(山城第3組 皆演寺)	伏見別院
8日(月)	13:30～15:30	山科 同朋の会 ^{法話} 磯野 恵嗣 師(教区駐在教導)	山科別院
10日(水)	14:00～17:00	伏見 伏見別院同朋会 御文輪読	伏見別院
13日(土)	10:00～11:30	岡崎 三日講「歎異抄を読む」 ^{法話} 近藤 悠 師(別院輪番)	岡崎別院
15日(月)	14:00～16:00	大津 同朋の会 聞法会 ^{法話} 石谷 弥恩 師(大津教区 光明寺)	大津別院
15日(月)	14:00～15:30	山科 定例法話 ^{法話} 仁科 高遠 師(山城第1組 長安寺)	山科別院
18日(木)	19:00～21:00	伏見 親鸞教室 ^{法話} 藤原 正寿 師(大谷大学准教授)	伏見別院
19日(金)	9:00～11:00	山科 おみがき	山科別院
23日(火)	13:00～15:00	岡崎 お煤払い	岡崎別院
25日(木)	14:00～18:00	伏見 すず払い	伏見別院
27日(土)	12:00～13:00	赤野井 定例法話(宗祖親鸞聖人御命日速夜)お内仏報恩講 ^{法話} 中川 眞 師(別院輪番)	赤野井別院
31日(水)	10:00～11:00	赤野井 歳末昏時勤行 ^{法話} 中川 眞 師(別院輪番)	赤野井別院
31日(水)	11:00～12:00	長浜 歳末勤行	長浜別院
31日(水)	12:00～12:30	大津 歳末勤行	大津別院
31日(水)	14:00～	伏見 歳暮勤行	伏見別院
31日(水)	15:00～16:00	岡崎 歳末勤行 ^{法話} 近藤 悠 師(別院輪番)	岡崎別院
31日(水)	16:00～16:30	山科 歳末勤行	山科別院
31日(水)		五村 歳末勤行	五村別院
31日(水)	23:30～24:00	長浜 除夜の鐘	長浜別院

京都教区 公式SNSあります



公式SNSで更新情報などを配信しています。1,000カ寺を超える寺院・教会がある京都教区ですが、登録者数はまだまだ少ないです！ぜひご登録をお願いします！



LINE公式アカウント
2025年11月10日現在
登録者数252名
LINE ID @441foywe

Facebook,
Instagram
もちろんあります！



編集後記

10月に当院の1日研修旅行を実施しました。改めて参加者の皆様と知見を共にし、親睦が深められたことを有り難く感じます。

旅行の日を迎えるたびに、「また1年、年を重ねたな」という実感と「来年もまた皆様とこの日を迎えられたらいいな」という願いを持つようになりました。

今年で8度目の開催となった研修旅行。来年はどうなるのか、どこに行こうかとすでに思案中です。

(出版部会 徳田 潤子)

教区だより表紙写真大募集!!

本誌表紙写真を大募集いたします！

テーマは宗祖親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要テーマ「南無阿彌陀仏人と生まれたことの意味をたずねていこう」です。

詳しくは京都教務所まで。お待ちしております！



【表紙の写真】「秋夜の東本願寺」(吉田愛果/東北教区西願寺 門徒)

真宗大谷派 京都教区 教化広報誌 教区だより 第427号

真宗大谷派 京都教区 Webサイト <https://www.k-kyoku.net>

【発行人】宮戸弘(真宗大谷派京都教務所長) 【発行所】真宗大谷派京都教務所 【発行日】2025(令和7)年12月1日
〒600-8164 京都市下京区花屋町通烏丸西入 Tel 075-351-5260 Fax 075-351-5256 Mail kyoto@higashihonganji.or.jp

